



# 国労せんだい

## こくろうせんだい FAX版

号 外  
2011年4月20日  
発責 橋本 昭二  
編責 武田 昌仙

### 東日本大震災

# 仲間の気持ちを届けたい

## 全国から贈られた義援金を被災者へ

### 地本から各支部に渡す

地方本部は4月11日に闘争委員会(支部代表者会議)を開催。各支部の代表者らと協議し、全国の仲間から届けられた義援金を被災した組合員にお見舞いとして活用することを決定した。

### 仲間のメール報告

東北自動車支部前委員長の大倉満さんは、自宅が福島原発の10キロ圏内のため現在も避難所生活を強いられています。大倉さんは福島市内の2箇所の避難所を経て、現在は二本松市内岳温泉「あづま館」内の東三番館に避難してまいりました。

### 激励と支援米

#### 米子地本から

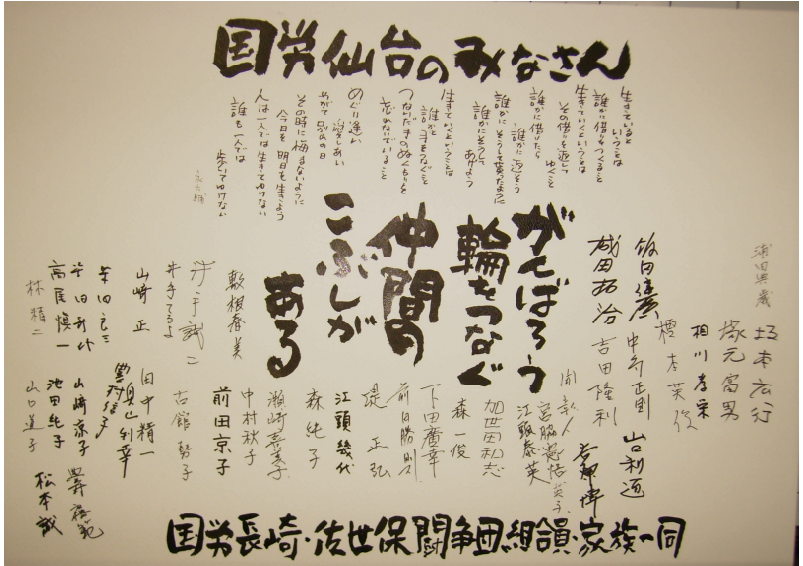
東日本大震災により、多くの方が被災され、亡くなられた方、未だ行方不明の方、また被災状況も把握できていないなど、この震災の凄まじさと被害の大きさに心を痛めております。また、国労組合

員も亡くなられた方、多くの方が被災されたらと聞いております。仙台地本の皆さんの復興の取り組みに心より敬意を表します。米子地本も本部・エリア本部と共に、早期復興に向けて支援の取り組みを強めたいと考えています。

す。今回は米8袋、240キロを支援物資として送付しました。ご活用ください。仙台地本の役員の皆様、体調には十分留意され早期復興に奮闘されますよう、また共に奮闘することを表明します。

### 九州本部からは義援金

国労仙台地方本部執行委員長 橋本昭二殿  
今回の東日本大震災で、甚大な被害に遭われた組合員・家族の皆様にご心からお見舞い申し上げます。  
今、国労としても義援金カンパ、救援物資など取り組まれている最中ではありますが、九州本部執行委員(6名)と九州本部青年・婦人・家族行動委員会から、僅かな金額ですが義援金を送らせて頂きます。  
一日も早い復興をお祈りしております。頑張ってください。  
2011年4月5日 国労九州本部執行委員一同



長崎・佐世保闘争団から激励